

PAPER #07



栃木県
とちぎテレビ

日光の癒しに触れる旅
とちぎで足湯めぐり

TOCHIGI BURA STAFF DIARY



GUEST

高瀬くるみ

やってきたのは鬼怒川温泉。

栃木県日光市の鬼怒川上流域にある、雄大な溪谷美に彩られた関東有数の温泉街で、かつては箱根や熱海と並んで「東京の奥座敷」とも呼ばれ、現在でも年間200万人以上の観光客でにぎわいます。

江戸時代の1691年に発見され、日光東照宮への参拝帰りの諸大名や僧侶達のみが利用できたといわれる由緒ある温泉です。今回は、BEY000000NDSの高瀬くるみさんが熱望していた「足湯」をブラリします！



BURARI 01

熱望していた
足湯旅の始まりは…

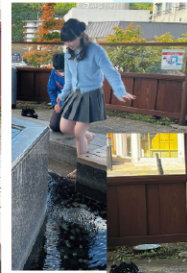
鬼怒川温泉駅前にある大きな像は邪鬼を払い福を招くという鬼怒太（きぬた）の陶像です。鬼怒川温泉に来るのは久しぶりなので、懐かしい気持ちになったという高瀬さん。期待に胸を膨らませているようで、ロケ前から笑顔があふれます。



RURARI 02

最初の足湯は鬼怒太の湯

足湯めぐり、最初に訪れたのは鬼怒川温泉駅の目の前にある「鬼怒太の湯」。なんと無料。泉質はアルカリ性単純温泉で、神経痛、筋肉痛、関節炎などに良いとされるほか入浴後はお肌がすべすべになることから“美肌の湯”ともいられています。実はライブが終わったばかりだったという高瀬さん。とっても気持ちよさそうです。ここでは手湯も楽しむことができ、足湯とはまた違う温まり方に驚いた様子でした。



RURARI 03

甘い香りにつられて… しっとりバウムでひと休み

足湯の後は駅前を散策。甘い香りに引き寄せられて訪れたのは、「バウムクーヘン工房はちや」に併設された“はちやカフェ”。足湯で温まったあとに甘いもの…まさに幸せの組み合わせです。新鮮な地元産たまごなどで作った4種類のバウムクーヘンを前に、大きな一口で思わずかぶりついてしまい、セリフが出ないハプニングも！茶目っ気たっぷりの高瀬さんに、スタッフ一同も癒されました。



RURARI 04

渓谷を眺める絶景スポット

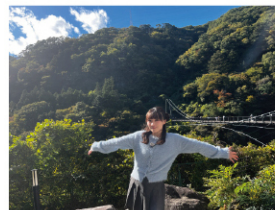
続いて訪れたのは、黒鉄(くろがね)橋近くにある「鬼怒子(きぬこ)の湯」。渓谷沿いの足湯で、四季折々の自然を楽しめるのが魅力。ロケの日には紅葉がまだまだ始まったばかりでしたが、それでも圧巻の絶景でした。こんなに良い景色を見ながら入れる足湯も無料で!?と驚くスタッフ。さらに施設の前の陶像にはある秘密が…鬼怒川温泉街に架かる6つの橋それぞれに設置された鬼怒太像の中で、ここだけは妹の鬼怒子像がある特別なスポットです。「リボンがついてる!」と、高瀬さんもびっくり。



RURARI 05

甘味&足湯の癒やし空間

最後に訪れたのは、ホテルサンシャイン鬼怒川内にある「あし湯カフェ エスポ」。鬼怒川温泉唯一の“足湯に入りながら楽しめるカフェ”で目の前には鬼怒橋岩大吊橋と絶景が広がります。テラススタイルの足湯につかりながら、こだわりの自家製コーヒーゼリーを使った「コーヒーモンブラン」と、老舗酒蔵の仕込みに使う地下水を100%使用した「鬼怒川サイダー」に舌鼓。撮影が終わった後は目の前の吊り橋を渡って高さに大興奮の様子でした。皆さんもぜひ、栃木県にお越しの際は、足湯とスイーツでホッと一息つきにお越しください!



TOCHIBURA STAFF DIARY

今回の内容を動画でも
お楽しみいただけます♪



お問い合わせ

栃木県 総合政策部 広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 県庁舎本館 3 階

TEL.028-623-2190 FAX.028-623-2160

✉ kouhou@pref.tochigi.lg.jp